

県内各地で鶏卵品評会が開催されました

新型コロナウイルス感染症の発生以前は、毎年県内各地で生産者相互の鶏卵品質の向上を目的に、鶏卵品評会が開催されておりました。今年度は、生産者を交えずに関係機関のみで審査を行うなどのコロナウイルス対策を十分に行った上で、9月28日に開催された藤沢市鶏卵共進会を皮切りに、寒川町（11月19日）、相模原市（12月1日と2日）、横浜市（12月10日）で鶏卵の品評会が行われ、普及指導課職員が審査員として審査を担当しました。

養鶏情勢は、飼料高騰や鳥インフルエンザの発生など経営を圧迫する状況が続いておりますが、品評会や共進会に出品する農家の方々は、そのような状況下においても、新鮮で安全安心、そして高品質な鶏卵を消費者に届ける熱意を持ち続けており、直売経営であることも相まって、日ごろの努力と技術研鑽を怠っておりませんでした。

どの地域の鶏卵品評会においても、パック毎の粒ぞろいや卵殻の厚さ、卵黄色の濃さやその盛り上がり等、素晴らしい卵が出品されており、審査員泣かせの品評会でした。この質の高さを維持し続けることは本当に苦労が多いと思いますが、生産者が生産した鶏卵が、市民の方々に愛され続けられるよう、今後とも支援をしていきたいと思っております。



カラーファンによる卵黄色の審査の様子 卵黄と卵白の盛り上がり優れた鶏卵